

みなみさんりく 議会だより



No.81

令和8年5月1日発行



特集

令和8年度のまちづくり...P2

復興から次の未来へ

施政方針への総括的質疑&当初予算審査特別委員会

P9 公共施設を維持管理する基金の使途に「運営」追加

P10 新副町長を任命

P12 一般質問 P20 住民と議会の懇談会 P22 議案一覧

戸倉波伝谷地区の獅子舞

東の村境から全戸を廻り、豆腐（依り代）に封じ込められた悪気を集め、日没に西の村境で口を大きく開けて悪気を祓い捨てる。次の春祈禱まで絶対に口は開かない。

発行／南三陸町議会 編集／議会広報常任委員会

宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田101番地 TEL 0226-46-1375

復興の次の未来へ向かうために

千葉町長の施政方針に対する総括的質疑&令和8年度当初予算を審査
今までにない危機的な予算編成に議論白熱



阿部 司 予算委員長

3月定例会は3日から16日まで開催され、千葉啓町長の施政方針に対し、6名の議員が総括的質疑(P2③)を行いました。一般質問(P1②)は7名の議員が登壇し教育や観光、地域振興などについて町の考えを質しました。議案審議では条例改正(P9)や補正予算(P10)などの主な審議状況をお知らせしています。また、阿部司委員長による令和8年度当初予算審査特別委員会を設置し、一般会計、特別会計、企業会計について慎重なる審査のうえ可決すべきものとして報告し、本会議においてすべて可決されました。

施政方針のポイントは

主要方針

- ① 子育て環境の整備
- ② 地域で高齢者を支える仕組み作り
- ③ 地域の産業・経済の持続的発展
- ④ 交流人口・関係人口の拡大



千葉 啓 町長

ここが
大事

- 町民生活第一、生活に直結する行政サービスの維持
- 財政環境は厳しい
→ 病院事業会計へ約8億円の繰り出し
- すべての事業を今後ゼロベースで再検討
→ 予算の効率的・効果的な執行を目指す

総括的 質疑

施政方針と4つの主要施策に 6議員が切り込む!



須藤清孝 議員

- Q** 限られた財源の中でどのように優先順位を決めたのか。また、重点を置く分野と推進体制は。
- A** 4つの重点事業を軸に予算編成したが、基金を取り崩す厳しい状況。新年度から全事業の見直しを行い、全庁体制で重点化を進める。
- Q** 財政の持続可能性と、病院会計を含めた今後の財政の見通しは。
- A** 基金依存の財政は異常であり改善が必要。令和9年度に適正な予算規模となるよう努める。町民生活、特に医療・福祉を重視し、持続可能な財政運営を目指していく。

総括的質疑



後藤伸太郎 議員

- Q** 子育て環境整備を方針の最初に掲げた意図は。
- A** 子育て世代の経済的・心理的負担が大きく、特に子どもの居場所づくりの必要性が高いため、最優先とした。
- Q** 令和8年度予算で、攻めた点や町長のカラーが出た部分はどこか。
- A** 今年度は既存事業の見直しを中心に、独自色を強く出すには至らなかった。今後、農林水産業の基盤整備を柱に、補正予算や令和9年度予算で具体化していく。

- Q** 子育て支援として、地域全体で関わる人を増やす考えについてどうか。
- A** 高齢者の活躍を促進し、世代を超えて子育てを支える仕組みが重要。健康寿命の延伸とともに、地域全体で子育てを支援する体制づくりを進める。



伊藤 俊 議員

- Q** 町民との対話をどのように行い、政策や危機認識を共有していくのか。
- A** 現場での対話を重ね、課題を聞きながら自身の考えも伝えている。今後も対話を継続する。
- Q** 厳しい財政の中、持続可能な投資と産業政策をどう進めるのか。
- A** 一次産業の再構築を軸に、地域の実情を踏まえ今後の予算で具体化を図る。

- Q** 選択と集中による再成長と財政縮小のバランスをどう取るのか。
- A** 歳入確保に努めつつ、段階的な見直しと関係団体との連携により、持続的な財政運営を図る。



及川幸子 議員

- Q** 高齢者支援や健康寿命延伸の取組、介護人材確保、地域での継続的な活動をどう進めるのか。
- A** 健康講演会や地区での取組により社会参加を促進し、事業の継続を図る。人材確保は外国人材の活用も含め検討し、既存人材の活用や地域主体の取組を進めていく。



今野雄紀 議員

- Q** 指定管理センターの運営は有効か。職員が直接関わる体制を強化すべきでは。
- A** 民間ノウハウによるサービス向上が目的。行政需要の増大で職員の

- Q** 指定管理センターの運営は有効か。職員が直接関わる体制を強化すべきでは。
- A** 民間ノウハウによるサービス向上が目的。行政需要の増大で職員の



千葉伸孝 議員

- Q** 企業誘致の推進と労働力確保、あわせて病院会計の改善策は。
- A** 企業誘致は労働力不足と下水道未整備が課題。病院経営は厳しく、今後は近隣自治体との連携や医師との協議を進めて対応する。

- Q** 基金取り崩しと事業見直しにおいて、「町民生活第一」との両立は。
- A** 町民生活を最優先に、重要度・優先順位を踏まえ段階的に見直す。未活用基金の整理も含め検討する。

- Q** 基金取り崩しと事業見直しにおいて、「町民生活第一」との両立は。
- A** 町民生活を最優先に、重要度・優先順位を踏まえ段階的に見直す。未活用基金の整理も含め検討する。

- Q** 基金取り崩しと事業見直しにおいて、「町民生活第一」との両立は。
- A** 町民生活を最優先に、重要度・優先順位を踏まえ段階的に見直す。未活用基金の整理も含め検討する。

- Q** 人口減少を前提に、幸福度重視のまちづくりと町民生活第一の考えは。
- A** 人口減少は避けられないが進行抑制と機能維持に努める。町民生活第一とは、住んで良かった実感できるまちの実現である。

一般会計は前年度比-0.8%減

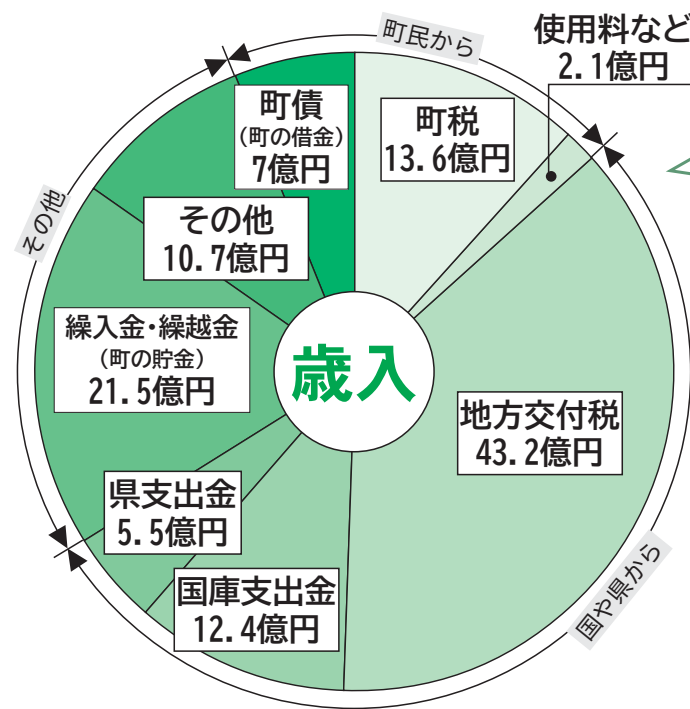
一般会計と特別会計・企業会計の総額は194億1,020万円の予算編成になりました

令和8年度 当初予算

一般会計
予算

116億1,000万円+

特別会計
41億5,140万円
企業会計
36億4,880万円



お金はどこから入ってくる

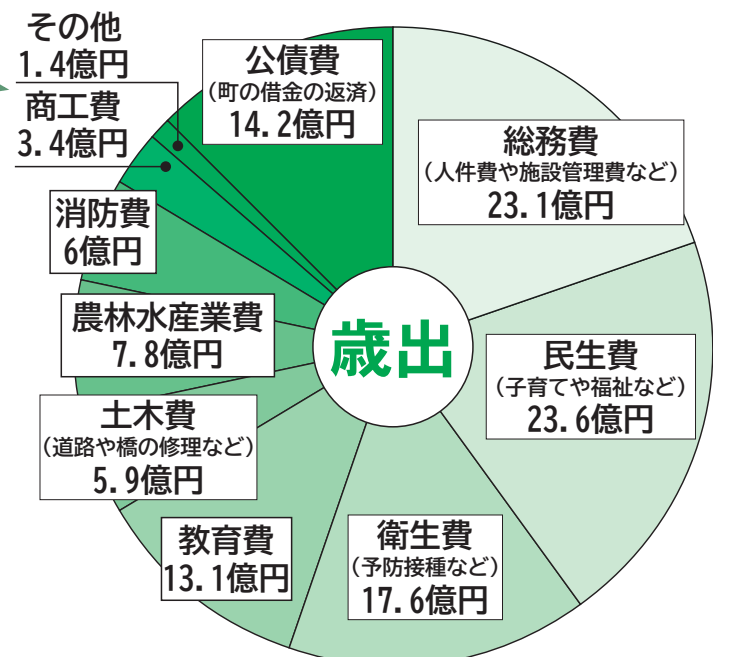
歳入のポイント

- 地方交付税…
物価高騰、給与改定など8,400万円増
- 国庫支出金・県支出金…
前年比2.9億円減少
- 財政調整基金…
前年比4億円増額し15億円に

お金はどこに使われる？

歳出のポイント

- 民生費…
重層的支援体制など2.1億円増加
- 教育費…
歌中改修、タブレット更新など
6,000万円増加
- 農林水産業費…
森林施業の加速化、漁港整備など



一般会計

歳入

被災宅地の固定資産
税は
〈町税〉

問
（千葉伸孝委員）
被災宅地の固定資産
税の納付が厳しい。救済
策などはあるか。

答
制度上等しく課税さ
れるものであり、ご
理解とご協力をお願い
したい。納付に困った場合
は相談に応じたい。

放課後児童クラブの
支払いについて
〈使用料及び手数料〉

問
（須藤清孝委員）
保護者負担金の納付
方法の見直しの進捗は。

答
コンビニ納付など検
討したが難しい。令
和8年度から口座振替も
可能となる。

補助金がない事業の
継続は
〈国庫支出金〉

問
（伊藤俊委員）
国庫補助金等がなく
なった場合の事業の継続
は。

答
可能な限り補助財源
等の確保に努める。
制度が廃止されたから即
廃止ということにはなら
ない。
制度の見直しがある場
合でも、他の財源で引き
続き事業を継続する。

コンパクトシティ形
成計画は
〈国庫支出金〉

問
（高橋尚勝委員）
コンパクトシティ形
成計画の概要は。

答
都市計画事業による
今後10力年の志津川
地区の土地利用計画を2
力年で策定する。

歳出

記念オブジェの作成
は
〈総務費〉

問
（伊藤俊委員）
リアスアーク美術館
に記念オブジェを作成す
る予算が計上されている
が、この内容は。

答
広域事務組合で運営
されてきた当該美術
館が本年4月から気仙沼
市に移管される。記念オ
ブジェを作成して歴史の
足跡を後世に残したい。

寄付額を増やすため
の返礼品の工夫は
〈総務費〉

問
（三浦清人委員）
ふるさと納税の寄付
額が気仙沼市の100分の1
の実績であるが、せめて
10億円程度の寄付額を見
込めないものか。

答
町内水産加工業者や
南三陸町商工会とも
協力して積極的に取り組
んで行きたい。

防犯灯のLED化は
〈総務費〉

問
（須藤清孝委員）
法改正により蛍光灯
が使えなくなる。進捗状
況は。

答
相当数がLED化に
なっている。今後全
てLEDに換えていく予
定。

町民バスの乗車率を
上げるには
〈総務費〉

問
（及川幸子委員）
地域交通の管理運営

謝金制度を辞退した行政区も
〈総務費〉

問
（後藤伸太郎委員）
行政区除草作業に対する謝金制度のあ
り方は。

答
震災以降、高台に団地化された行政区
もあり、草刈り等の環境美化活動への
謝金制度の要望が強くあった。

問
（今野雄紀委員）
謝金の受取りを辞退した事例もあるが、
行政区から飲み物、燃料代、ゴミ袋の
支給等の要望が制度発足のスタートで
ある。1世帯150円を見込んでいる。
行政区の自主活動への支援である。

複数委員が質疑

問
（今野雄紀委員）
当町の現状と新年度
の取り組みは。
答
7年度は食事支援、
学習支援を行う2団
体に対し実施している。
8年度は更に拡充して取
り組みたい。

子どもの居場所づく
りは
〈民生費〉

問
（須藤清孝委員）
利用者の推移と障害
者への支援の課題は。

答
利用者は増加傾向に
ある。家族の高齢化
や親亡き後の課題につ
いてもしっかり支援してい
く。

グループホーム利用
者の状況は
〈民生費〉

問
（須藤清孝委員）
利用者の推移と障害
者への支援の課題は。

答
利用者は増加傾向に
ある。家族の高齢化
や親亡き後の課題につ
いてもしっかり支援してい
く。

等で行なっている。新年
度も継続して取り組んで
行きたい。

予算はどう使われるのか

食生活改善支援員の活動範囲は広がる
〈民生費〉

問 (伊藤俊委員)

今後の方向性は。

答 令和8年度から3名増え24名になる。主な活動は食育の推進、生活改善、減塩の普及活動が中心となっている。活動範囲は拡大傾向にある。

事業用太陽光発電、制限は
〈衛生費〉

問 (後藤伸太郎委員)

山間部の大規模メガソーラーは、土砂災害防止等の観点からどのような制限があるか。

答 県や町それぞれ規制区域及び抑制区域が設定されている。県の基準は50kw以上である。低地部への設置はどのような考えか。

ごみ処理の今後は
〈民生費〉

問 (須藤清孝委員)

特別収集が開始され、ごみの収集量は変化したか。またクリーンセンターから国道への出入り口の安全対策は十分か。

答 収集量は近年横ばい傾向である。出入り口の安全確保は更に検討をしたい。

減容化施設の概要は
〈農林水産業費〉

問 (佐藤雄一委員)

有害鳥獣処理施設の標準的な規模とは。場所の選定は。

答 県内の同様の施設を参考に積算した。場所は未定である。

海の廃棄物、どう対策
〈農林水産業費〉

問 (千葉伸孝委員)

漁業用資材等の廃棄処理はどのように。

答 漁港内に漂着した海藻等の処分費用であり、漁業資材は委託の対象外である。

ブルーフラッグシンポジウムの計画内容は
〈商工費〉

問 (伊藤俊委員)

町が主催するのか。規模はどの程度なのか。

答 南三陸町が主催。会場はベイサイドアリーナで300名の入場を予定している。

シルバー人材センター事業の状況は
〈商工費〉

問 (千葉伸孝委員)

現況と運営のあり方は。

答 登録者数は128名。令和6年度の事業収益は2,300万円ほどである。民業を圧迫しない配慮と自立とのバランスを注視して見守りたい。

一人暮らし対策が必要では
〈土木費〉

問 (千葉伸孝委員)

一人暮らし世帯が増加傾向にある。公営住宅入居者へ連絡が取れなくなった場合の対応は。

答 基本的には入居者の連帯保証人が対応することになるが、事前に町が鍵を預かる制度もあるので活用されたい。

立地適正化計画とは
〈土木費〉

問 (須藤清孝委員)

策定は義務となっているのか。

答 立地適正化計画を策定し、志津川地区における各種補助事業、交付金事業に支障が出ないよう進めていく。

消防団員の健康を守る対策を
〈消防費〉

問 (星岳大委員)

出初め式での防寒具着用や6月の消防演習での暑さ対策など、団員の健康を守る対策が必要と思われるが。

答 他市町の動向や団員からの要望を踏まえて検討したい。

複数委員が質疑

ラムサール、エリア拡大の今後は
〈農林水産業費〉

問 (今野雄紀委員)

登録完了までのスケジュール及び経費は。

答 2028年認定を目指している。申請の準備はできており他に障害となるものはない。

問 (須藤清孝委員)

自然環境活用センターの認知度をアップさせる方策を。

答 ラムサールエリア拡大の説明会を開催し25名の参加があった。PR等で強化を図る。

問 (後藤伸太郎委員)

登米市、栗原市、大崎市などラムサール条約に関わる市町との連携強化を。

答 子どもたちは既に取り組んでいる。行政レベルは今後の課題としたい。

給食食材の保管状況
〈教育費〉

問 (星岳大委員)

牛乳保冷庫の保守点検及び更新は適正に行われているか。

答 各学校に1台ずつ設置してあるが、今年度は伊里前小学校、志津川中学校で更新する予定。他の学校も逐次更新していく。

平成の森レストランのエアコン設置は
〈教育費〉

問 (須藤清孝委員)

エアコン設置するための断熱工事は。

答 断熱工事の必要がないことが分かり、大さめのエアコン2台を設置する。

スクールバスのサイズは適正か
〈教育費〉

問 (佐藤雄一委員)

委託料が大幅にアップしている。乗車率も低いように感じるが、中型バスなどに変更して経費削減を図っては。

答 物価高騰、人手不足等もあり国の公示運賃も上がっている。今後経費削減の観点から適正なスクールバスのサイズを検討したい。

部活動の地域展開、どこまで進める
〈教育費〉

問 (伊藤俊委員)

部活動の地域展開の最終目標は土日移行か全日移行か。活動費の支援はないか。

答 令和8年度末までに土日での実現を目標とする。全ての子どもが地域で活動できることを最終目標にしている。活動費の支援は現時点では難しい。

売却する端末のデータ削除は
〈教育費〉

問 (須藤清孝委員)

タブレットのデータ削除を業者任せでよいのか。

答 業者に委託するか、教育委員会が自らやるか今後検討したい。

熱白戦論

町営住宅管理代行のコストを下げる工夫は
〈土木費〉

問 (伊藤俊委員)

前年度より1,000万円ほど委託料がアップしている。常時入居募集の経費等も入ったのか。コストを下げる工夫が必要では。

答 建設から10年が経過し維持管理費のコストが増加している。住宅供給公社への委託期間が来年度までであり、今後住宅管理のあり方を検討したい。なお常時募集の経費は含まれていない。

通信環境は
〈教育費〉

問 (伊藤俊委員)

タブレットの通信環境はどのようになっているのか。

答 LTE回線で行なっている。通信エリア、速度、セキュリティ等特に問題はない。



極寒の出初式でも毅然とした整列

令和8年度当初予算審査特別委員会

条例改正

1

公共施設を維持管理する基金の使途に「運営」も追加



- 公共施設維持管理の基金に「運営」の適用を付加する議案に対し、各議員より活発な議論が展開され慎重審議が行われた。
- 問** (後藤伸太郎議員)
いま改正する理由は、過去に松笠屋敷改修に使用した経緯があり、今後必要と考える。
- 答** (伊藤俊議員)
今後のリスクを考えて長寿命化計画に合う対応を検討すべきでは。
- 問** (伊藤俊議員)
運用する場合はその都度慎重審議を行い議会議決を得て進める。

子どもや子育て世帯を全世帯・全経済主体で支援する社会を構築するため新たな税制度が始まる。

- 問** (伊藤俊議員)
国の制度変更であるが、内容と町民への対応は。
- 答** (伊藤俊議員)
年度から国民健康保険税に加算され同時徴収となる。

3 国民健康保険の負担はどうなる

案議 議審 いざ提言!

今定例会議においては「基金使途に運営の追加」や「過疎地域の計画書策定」及び国県の施策の対応に伴う条例改正が審議されました。

2

注目

過疎地域の発展計画をどうする

- 町の第3次総合計画を円滑に推進するため、令和8年度より5年間の中長期的な戦略手段として「過疎地域持続的発展計画」を策定する。
- 問** (今野雄紀議員)
素案策定プロセスは、国県の事例を基に担当課からの提出事業を検討し審議会にて諮ってきた。
- 答** (星岳大議員)
しており、過疎対策は担い手確保を進める。
- 問** (星岳大議員)
複式学級の取組みについての周知は。
- 答** (星岳大議員)
出来るだけ早く周知する。
- 問** (後藤伸太郎議員)
公共施設の再配置を協議するプロジェクトチームの考えは。
- 答** (後藤伸太郎議員)
まだ未定だが今後検討を進めていく。

予算はどう使われるのか

特別会計

広域連合との連携により、保険と介護の一体的推進を

(後期高齢者)

問 (後藤伸太郎委員)

当町介護部門との連携を一層密にし、高齢者の健康増進につなげて。

答 本町の包括ケアシステム充実には広域連合

のアドバイスは重要である。高齢者が健康でいきいき暮らしている町になるよう取り組む。

効率的な高齢者の見守りを

(介護保険)

問 (及川幸子委員)

細部まで見守りができているのか。

答 町としてきめ細やかな取り組みを行なっ

LSA活動の課題は

(介護保険)

問 (伊藤俊委員)

今年度実施しての評価は。現場からの課題は。

答 高齢者見守り支援員(LSA)の規模縮小で現場の負担が増えた。

それでも大きな問題やトラブル等はなかったようだ。今後とも包括支援センターや関係機関との連携を図り実施していく。

老朽管の状況は

(水道事業)

問 (今野雄紀委員)

老朽管の現状は。

答 給水管の総延長247kmのうち老朽管は46km。経年比率は18・6%となっている。

複数委員が質疑

病院の経営改善が急務

(病院事業)

問 (星岳大委員)

7年度の赤字額が3億円ほどと依然厳しい経営環境にある。危機感を持って取り組んで欲しい。今後収益を上げる努力を期待している。

答 診療報酬の改善の努力や支出削減などは常時取り組んでいるところである。令和8年度において各種見直しを行い経営の改善を図っていく。

コンサル導入の検討は

(病院事業)

問 (星岳大委員)

他の自治体病院ではコンサル導入により経営改善を図っている事例もあるが。

答 費用が高額なため導入を見送った経緯もある。独自で改善に取り組んでいく。

医療体制の今後は

(病院事業)

問 (今野雄紀委員)

医師の補充は厳しいか。

答 東北大学病院から医師の補充がなされている。令和8年度まで現行の体制が維持されるとの返事は貰っている。大学側も医師不足であり医師の確保は依然厳しい状況である。

課題に固結して取り組むべき

(病院事業)

問 (三浦清人委員)

全国の首長たちで、国に対し診療報酬の改善を働きかけるべき。

答 国県への要望を継続して行っていく。



いのちと健康を守る南三陸病院



海陸安全

防波堤に緊急時の
為のはしごを設置
しては

QRコードから一般質問
の動画が見られます。



干潮時には自力で這い上がるのは難しい

必要だと思うが。

問 防波堤部分にも、緊急時のはしご設置が必要だと思うが。

答 危険度の高い所から優先的に、利用者の方々の意見を聞きながら、定期点検を実施しながら、必要に応じて増設や更新を検討していく。

問 漁港からの落下事故などが多数発生しているが、車止めの設置と管理は。

答 危険度の高い所から優先的に、利用者の方々の意見を聞きながら、定期点検を実施しながら、必要に応じて増設や更新を検討していく。

問 漁港からの落下事故などが多数発生しているが、車止めの設置と管理は。

答 危険度の高い所から優先的に、利用者の方々の意見を聞きながら、定期点検を実施しながら、必要に応じて増設や更新を検討していく。

答 防波堤で作業している方も多く見かける。荷揚げ場以外の設置も前向きに進めていく。

問 はしごの間隔には規定があるようだが、漁業者からは増設を望む声も多い。比較的安価なステンレス製のはしごも含め、増設も検討してはどうか。

答 利用者の方々の意見を聞きながら、可能な限り設置を進めていく。県管理第二種漁港にも同様の問題があり、漁民、漁協からも要望があるようだが。

問 ステンレス製で良いのではしごの増設はできないか。

答 漁民の安全確保が第一だ。関係者の声を聞き随時追加整備をしていく。月に1度点検を実施し安全確保に努めている。

問 県民の安全確保が第一だ。関係者の声を聞き随時追加整備をしていく。月に1度点検を実施し安全確保に努めている。

答 県民の安全確保が第一だ。関係者の声を聞き随時追加整備をしていく。月に1度点検を実施し安全確保に努めている。

問 県民の安全確保が第一だ。関係者の声を聞き随時追加整備をしていく。月に1度点検を実施し安全確保に努めている。

答 県民の安全確保が第一だ。関係者の声を聞き随時追加整備をしていく。月に1度点検を実施し安全確保に努めている。

問 県民の安全確保が第一だ。関係者の声を聞き随時追加整備をしていく。月に1度点検を実施し安全確保に努めている。

答 県民の安全確保が第一だ。関係者の声を聞き随時追加整備をしていく。月に1度点検を実施し安全確保に努めている。

答 全国的には指定ではなく自由に選択する方向だ。学校の考えも尊

問 小学校から中学校へ持ち上がりで使用できるよう、上履きや給食着を町内で統一してはどうか。町内の商店で扱えば探す手間も省けるのでは。

答 全国的には指定ではなく自由に選択する方向だ。学校の考えも尊

問 小学校から中学校へ持ち上がりで使用できるよう、上履きや給食着を町内で統一してはどうか。町内の商店で扱えば探す手間も省けるのでは。

答 全国的には指定ではなく自由に選択する方向だ。学校の考えも尊

問 小学校から中学校へ持ち上がりで使用できるよう、上履きや給食着を町内で統一してはどうか。町内の商店で扱えば探す手間も省けるのでは。

答 全国的には指定ではなく自由に選択する方向だ。学校の考えも尊

問 小学校から中学校へ持ち上がりで使用できるよう、上履きや給食着を町内で統一してはどうか。町内の商店で扱えば探す手間も省けるのでは。

答 全国的には指定ではなく自由に選択する方向だ。学校の考えも尊

問 小学校から中学校へ持ち上がりで使用できるよう、上履きや給食着を町内で統一してはどうか。町内の商店で扱えば探す手間も省けるのでは。

答 全国的には指定ではなく自由に選択する方向だ。学校の考えも尊

継続支援

教育長

継続的な就学援助について

リユース文化を醸成し
実質的な支援につなげたい

問 特に中学校入学時に制服、運動着などの購入の際。保護者の負担が大きい支援できないか。

答 出生時及び小学校入学時の、子育て応援給付金の支給。子ども医療費助成の拡大、学校給食費無償をやっており、現在は町内保育施設の利用無償化に取り組んでいる。節目の支援は次の段階と捉えてもらいたい。

問 小学校から中学校へ持ち上がりで使用できるよう、上履きや給食着を町内で統一してはどうか。町内の商店で扱えば探す手間も省けるのでは。

答 全国的には指定ではなく自由に選択する方向だ。学校の考えも尊

問 今後も情報交換の場には積極的に参加し、要望の解決に向けて進めてまいりたい。

答 今後も情報交換の場には積極的に参加し、要望の解決に向けて進めてまいりたい。

問 今後も情報交換の場には積極的に参加し、要望の解決に向けて進めてまいりたい。

答 今後も情報交換の場には積極的に参加し、要望の解決に向けて進めてまいりたい。

問 今後も情報交換の場には積極的に参加し、要望の解決に向けて進めてまいりたい。

答 今後も情報交換の場には積極的に参加し、要望の解決に向けて進めてまいりたい。

ここが聞きたい!

一般質問

今回は7人の議員が14件について行いました。

一般質問は年4回の定例会議でのみ

一問一答方式で

1人90分の制限時間で行われます。

議員からの通告によって行われるため

町政全般について自由度の高い議論が展開されます。

各議員の質問内容

1 星 岳大 議員…13ページ

- ①漁港の安全管理について
- ②継続的な就学援助について



2 阿部 司 議員…14ページ

- ①狹隘居住地集落の道路整備について
- ②総合計画の進捗状況について
- ③地球温暖化に伴う今後の対応について



3 千葉 伸孝 議員…15ページ

- ①風通しの良い行政組織とは



4 及川 幸子 議員…16ページ

- ①町内観光産業に対する施策について
- ②県職員の週休3日制導入に対する町の考えについて
- ③伊里前市街地の町有地について



5 伊藤 俊 議員…17ページ

- ①復興から次のステージへ向かう観光業とは
- ②未来のいのちを守るため今まで以上に災害伝承の取り組み強化を



6 今野 雄紀 議員…18ページ

- ①ハコモノ行政のあり方、すすめ方について
- ②町有地等及び公園の有効活用について



7 後藤伸太郎 議員…19ページ

- ①地域振興の現状と課題は



各議員の一般質問の動画が見やすいよう、それぞれのQRコードを掲載しています。お手持のスマートフォン等でカメラを起動し、QRコードを読み込み、再生すると、その議員の質問の時間からご覧いただくことが可能です。

狭隘集落の道路管理の考えは

町長

費用対効果に捉われず集落との対話から前向きに考えて行く。



狭隘集落の課題として保呂毛集落における河川沿いのガードレール設置要望があるが。

当集落については震災で決壊した橋梁の復興に伴い合わせて一部設置を行った。

当地にはまだ河川沿いに事故多発する危険箇所もあり延長を望んでいるが。

総合計画の実相は

町長

各場面で得た情報はリアルタイムで反映に取組む

総合計画の進捗状況は。

基本構想に沿い、概ね計画通り進んでいる。直近の人口動態については。

令和8年1月末現在で11,170人である。総合計画と総合戦略の関係性は。

総合計画の方針に沿った実行計画である。現在の人口は第2次総合計画の最下位数値11,354人を下回っているが。

現行の第3次総合計画に沿って課題解決に取り組んで行く。平成30年実施の地方自治体アンケートによれば総合計画と予算組との連動性が問われているが。

予算・決算審査や一般質問等の各場面で得た情報は今後リアルタイムで反映に取組む。他に「地球温暖化に伴う今後の対応について」も質問を行いました。詳細は上記QRコードからご覧ください。

持続集落

「里道問題」を通して町の未来を考えてみましょう

QRコードから一般質問の動画が見られます。



法面侵食で夜間走行が危険な箇所

行政職員の働く環境改善

町長

組織で動いた失敗は私の責任

愛陸三南

自分の郷里でずっと住みたい若者雇用の推進

QRコードから一般質問の動画が見られます。



新規採用の内容は。

第一次試験は教養試験、第二次試験は作文と人物試験で協調性やコミュニケーション能力を確認する。

最終決定は。

複数の評価者により、総合点で決定する。主観に偏らない体制で人材確保に努力している。

南三陸町の職員採用状況は。

受験者合格者は10名で町内は3名、大学卒2名と高卒1名である。風通しのよい職場とは。

自分の意見が言いやすく、本人が抱える問題を早期に見出す。若手職員の退職理由は。

自己の成長やキャリア形成の考え方の多様化。

公務員の離職の現状は。

国家公務員の平成26年度採用職員の離職率は23・2%で、公務員を定年まで続けたが35・2%と大幅減少している。

採用試験に関わる行政側は。

町長、副町長、総務課長が基本で、他に保健師や土木技術の担当課長がメンバーに入る。

AIや業務迅速化への対策は。

今年度から組織的な研修をCIO補佐官に専門的な分野の指導をいただいている。情報の取扱いなど技術は上がっている。

若い職員の退職希望の対応は。

上司が年に2回の面談をする。そして管理職が本人の抱える問題を聞き、引き止める状況

になる。

職員の住民との関わりは。

職員の心配事や気づきの相談に、令和4年からヘルプラインを設置し、12件の相談に対応し、職員の働きやすい環境や、住民サービスの向上に努めている。

最近になり固定資産税の割賦が来た理由

は。

土地区画整備事業の換地が終了し、固定資産税が発生した。

町民からの行政への問題点対応を一元的に。

今は現実的でなく、各課で適切な対応に努める。



若手職員の働きやすい行政庁舎に

田束山周辺の名所を観光コースに入れては

町長

自然と向き合いながら
トレイルを拡大していく



観光振興

「目に青葉 山ほととぎす 初がつお」
自然満喫しましょう

QRコードから一般質問
の動画が見られます。



問 インバウンド観光が
年々増加している。
田束山も歴史ある山なの
で周知して、大型バスで
観光客を呼び込む施策を
考えては。

答 町内屈指のビュース
ポットとして多くの
方が来場されているが、
道路の幅や待避所整備
に多額の費用がかかるこ
とや自然環境への影響も
あるので、既存の環境を
守りたい。

問 大型バスが無理でも
駐車場の舗装整備を
して多くの来場者を受け
入れるべき。

答 つつじまつりの状況
を確認してから、舗
装の必要性があれば検討
したい。

問 奥州藤原文化とも歴
史的にも価値ある山
なので、語り部やガイド
養成が必要では。

答 観光ボランティアは
いるが担い手が不足
している。

問 多くの町民が田束山
の歴史を知ることが
大切なので、町民向けの
勉強会や研修会など開催
して、語り部やガイド養
成すべきではないか。

答 みちのくGOLD浪
漫(2市3町)事業の
中で観光ガイド養成セミ
ナーを活用する。

問 町内に文化財保護委
員さんがいるので、
講師の御協力頂けないの
か。

答 6名の方に歴史や考
古学について助言頂
いているが、語り部の講師
は役割が違うので、何ら
かの形で関係課と連携し
て対応を考えたい。
問 志津川のさんさん商
店街には充実した道
の駅伝承館がある。歌津

には震災の伝承施設にな
るものが無い。そこでか
もめ館を活用して当時の
映像を流したり、震災前
の伊里前の街並みのパネ
ル展や語り部の協力も必
要ではないか。

答 かもめ館は町の所有
ではなく商工会管理
だが、震災を風化させな
い為にも良い提案だと思
うが関係者と協議しなが
ら検討する。

問 歴史ある田束山と震
災伝承する事により



かもめ館の有効活用を

観光客を呼び込めば、経
済が循環されハマーレの
活性化に繋がるので、旗
振り役に徹してもらいた
い。
答 南三陸町の均衡ある
発展という事でこの
場に立っている。観光交
流施設を今現在計画して
いる。地域住民と一緒に
汗をかくて歌津地区の活
性化を図って行きたい。

他に「県職員の週休3日制導
入に対する町の考えについて」
「伊里前市街地の町有地につ
いて」も質問を行いました。

復興から次のステージへ向かう観光業とは

町長

持続可能性を重視して観光施策を
着実に積み重ねる

観光の未来

地域再生型観光を
進めたい

QRコードから一般質問
の動画が見られます。



問 観光業の位置づけは。

答 多様な分野と密接に
結びつく総合産業で
あり、各産業の付加価値
向上につながるという相
互循環の関係がある。

問 観光分野に特化した
戦略や計画の必要性
は。

答 町と観光協会の協力
で施策を行っている
のが現状。

問 「目的地化」してい
くための具体的アク
ションは。

答 ここでは体験でき
ない価値の明確化と
磨き上げが不可欠。

問 観光にもネイチャー
ポジティブの考えが
必要では。

答 自然再生と観光を結
びつけるツアー造成



に向けて関係団体へ働き
かけていく。
問 観光を通じて、自然を
消費するのではなく守り
育てる方向へ進化させる
ことが、本町らしい観光
の在り方である。
問 ホスピタリティが
欠けてしまうと、リ
ピート化もしない、ファ
ンづくりにも繋がってい
かない。強化していくた
めの考えは。
答 観光協会をメインに
横のつながりを強化
して、おもてなしに取り
組んでいきたい。
問 宿泊税に対する考え
方、町としての捉え
方は。

災害伝承

町長

未来の命を守るため今まで以上に
災害伝承の取組強化を
防災・減災教育の基盤であり、
地域の歩みと教訓を次世代へ継
承していくための重要な施策。

問 単なる観光財源確保
ではなく、地域全体
の観光価値を高めるため
に必要な投資をするため
のものである。
答 宿泊事業者に対する
ケア、サポートの考
えは。

答 具体的イメージがす
ぐには湧かないが、
宿泊事業者の皆さんの利

便性につながるような施
策を取りたい。
問 宮城県側が示してい
る事業メニューの改
善を今後要望していける
か。

答 関係機関、町内の宿
泊業者との話し合いも
含めて、要望していくた
めの連携は図っていき
たい。

問 今までの語り部活動
への評価と今後につ
いては。

答 伝承活動の中核を担
うものであり、高く
評価すべき取組である。
一方で課題が顕在化し
ていることも事実であり、
より組織的かつ持続可能
な仕組みへ段階的に移行
していく必要がある。

問 「実相」をしっかり
整理して記録をまと
めていく作業が必要では
ないか。

答 検討していく。

問 町と各関連団体との
連携強化は。

答 情報共有、役割分担
の整理など円滑に活
動できる環境づくりが重
要。

魚竜館にかわる交流施設の在り方、
進め方は

町長 地域住民や関係団体の声を、
丁寧に聞きながら



問 歌津地区に建設予定の交流施設の事業計画、町民への説明、意見聴取、合意形成のあり方は。

答 本事業は、今後の地域活性化に関わる重要な取り組みである。計

合意形成

紫波町では、100回以上の説明会が開かれたらしい

QRコードから一般質問の動画が見られます。



かつて震災前はここあたりに図書館や公民館があったような

問 画の具体化は歌津地区の現状や課題を、地域住民や関係団体の意見を聞きながら、丁寧に整理していくことが必要だと考えている。

答 合意形成は。

問 町民の声に耳を傾けながら、拙速に進めることなく、透明性を確保しながら検討を重ね、地域住民の理解を得られるように取り組む。

答 現時点での、ほぼほぼの予定は。

問 あくまで予定としての行政側のスケジュールは、今年度上期には、合意形成の説明会で課題を洗い出し、課題解決に必要な機能やスペースの検討を踏まえて、立地場所等を決定したい。今年度後半には交付金申請、9年度に設計費等計上、令和10年度末に工事完了、11年度当初には、運営主体を決めて利用開始をしたい。

答 必要だが、どのような支援があるのか。

有効活用
町長 観るスポーツから、やるスポーツのために公園などの活用は、どちらも大切だが、地域住民が望むことが一番だ

問 紫波町のオガールでは、100回以上の説明会を開いたという例があるが。

答 小さな合意を少しずつ積み重ねていきたい。

問 公民館や図書館機能を持たせては。

答 子育て会議での、子どもの居場所、公民館開放などの根強い要望もあり、個人的には複合施設が良いと思っている。

問 町有地や公園など、町民の福祉向上、健康増進のため、観るスポーツからやるスポーツを推進していく必要があるのではないか。

答 観るスポーツもやるスポーツもどちらも大切だ。予算も含めて検討材料として伺っておく。当然、地域住民が望む施設が一番だ。

問 観るスポーツもやるスポーツもどちらも大切だ。予算も含めて検討材料として伺っておく。当然、地域住民が望む施設が一番だ。

（教育長） 観るスポーツとやるスポーツは相反するものではない。観ているうちにやりたくなり、

問 ひとり遊びできる壁打ちボードや、散歩中にできる簡易なアスレチック遊具など、公園に必要ではないか。

答 意見も踏まえて、検討したい。

移住促進のためできることは

町長 公営住宅の常時募集を検討

地域振興

田舎にこそ人間の暮らしがある。人は減っても地域振興は諦めない！

QRコードから一般質問の動画が見られます。



問 役場1階の移住定住支援センターには、毎年度1千万円以上の委託費がかかっている。どのような取り組みをしているか。

答 移住希望者への情報発信や相談業務、インスタグラムによるPRなど、民間のノウハウを活かした取り組みが着実に前進している。柔軟にスピード感を持って取り組んでおり、地域おこし協力隊の対応も担っている。

問 独自色を打ち出した、さらなる町のPRが必要と思うが。

答 充実した子育て支援や豊かな自然などを発信したい。発信の仕方にはまだ改善の余地があると思う。



問 移住するには住まいが必要だが、どのような支援があるのか。

答 11件の登録がある空き家バンクや定住促進住宅、単身でも入居可能な公営住宅など多様な受け皿を用意している。

問 公営住宅は入居率が下降気味で、高齢化も進み、共益費の値上げも目下だ。現在は入居募集は年4回だが増やせないか。

答 現在の定期募集に加え、常時募集の開始を検討する。

問 入居時に第二希望の申請はできないのか。

答 現在は第一希望のみ。常時募集できるようにすれば対応できると思う。

問 さんさん・ハマーレ両商店街は現在の町の賑わいの中心だが、空き店舗も始めている。町長は歌津に新施設を新築する予定だが、財源など大きなリスクもあるの

では。

答 苦戦するハマーレや歌津地区全体の活性化のためにも、化石のPRも含めた交流施設があった方がよいと判断し、地域の声も聞いて選挙公約にした。地域が望む、地域の人々が活躍できる、雇用も生まれる施設を作りたい。

問 ひころの里は教育委員会です管轄するのが

自然では。

答 平成5年度に農業構造改善事業を活用して整備したため現在は農林水産課の所管だが、地域の意見を聞いて管理のあり方を検討していく。（教育長）

歴史や文化、産業等を体験的に学べる、貴重な教育資源だと思う。



常時募集で空室を減らそう

他にはこんな意見交換も

議会から…民生・児童委員は無報酬と聞いた。なり手の確保が大変では。

→活動費は支給されているが、時間をかけ、無理なく活動してもらうように働きかけている。現在52名で、他の市町村より充足率が高い。

議会から…みなはびの活動は大切なので継続してほしいが、現状は。

→今は10名ほどで活動している。企業に寄付をお願いしたり街頭募金が必要かもしれない。子育て世代の声を議会でも共有してほしい。

意見をいただきました

・各団体がこれまで以上に連携することが重要。今日この場にいるみなさんが地域課題の解決のためにとても大切だと思う。

・のぞみ福祉作業所のメンバーの様子をぜひ見てほしい。作っているものを見てほしい。

…などなど、たくさんのご意見をいただきました。

障がい者福祉の課題は

「町内に受け入れ可能な施設がない」 南三陸相談支援センター

- ・洗心会として風の里での相談支援、地域活動支援をおこなう。移動支援はあり方を見直す必要がある。
- ・町内に障がい福祉サービスによる生活の場が全くない。利用希望者は町外に行くしかなく、緊急時の受け入れ先もない。事業所の誘致などが必要では。
- ・虐待や8050問題など、対応が困難なケースも増加し、夜間の対応も多い。緊急対応に対する金銭的な負担も課題。

「親なきあとも生まれた町で最期まで」 愛の手をつなぐ親の会

- ・障がいを持つ子の親の会として、ひなどりホームという取り組みからスタートした。
- ・町内に預かる場がないことが大きな課題。老障介護の世帯も増えている。例えば、のぞみ福祉作業所の近くにショートステイを設置する、戸建ての公営住宅をグループホームにする、などの対策が必要では。
- ・生まれた場所で最期まで暮らせる町に。親なき後も、取り残されない町にしてほしい。

「寄り添い、共に生きていく」 南三陸町障害者自立支援協議会

- ・障がいに対する捉え方も法律も変わってきていて、認知も広がってきた。可哀想だから何でもやってあげる、という行為が自立支援ではなく、共に生きていくという寄り添いが大切。
- ・障がい者としての登録を望まない人、家族もいる。

地域福祉の現状と課題は

「『みながり』で福祉を支えた15年」 社会福祉法人 南三陸町社会福祉協議会

- ・総合ケアセンターや結の里など、主に4ヶ所の拠点で52名の職員体制で活動。LSA、いきいき百歳体操など、町の事業も多く受託し、新年度からは重層的支援体制整備事業も加わる。
- ・人件費不足分は国や県の補助を活用。歌津老人福祉センターの老朽化など、持続可能な経営に課題感がある。
- ・震災後も町を挙げて、連携して地域福祉に取り組んできた。これからもみんなで楽しく働いていきたい。

「困りごとを聞き、つなぎ役に徹する」 南三陸町民生委員・児童委員協議会

- ・子どもから大人、高齢者まで、悩みや困りごとに向き合い、相談に乗り、しかるべき支援窓口につないでいる。
- ・震災後は家庭環境や生活の場が変化し、新しい問題も発生している。地域活動に積極的に参加し、お茶会の開催などにも取り組んでいる。
- ・子育ての価値観も変化している。児童館があればいいと思うが、移動手段の問題もある。

「施設管理なども引き受けたい」 南三陸町シルバー人材センター

- ・会員数は徐々に増え、現在127名。高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりをおこなっている。
- ・国庫補助団体となったが、補助は年により増減があり不安定。草刈りなどが主な仕事だが、冬場は需要が減少する。施設管理の仕事なども引き受けて、地域を盛り上げていきたい。
- ・現在の事務所は仮設の建物なので、いずれ移転が必要。

「女性支援の具体策が見えない」 特定非営利活動法人 ウィメンズアイ

- ・地域女性の人材育成、相談支援、みなはびと合同での子育て支援などの事業をおこなっている。
- ・田舎は女性が声を上げづらく、問題が深刻化してから顕在化する傾向がある。
- ・男女共同参画やDV防止などについて、具体的な取り組みが見えない。人口減少社会、高齢化社会では女性の役割は増えるので、相談体制の整備などが必要では。

子育て支援の現状と課題は

「活動継続のためのサポートを」 南三陸子そだてハッピープロジェクト みなはび

- ・子育て世代が集まり令和6年3月から団体活動を開始し、子育てタウンミーティング(しゃべりば)、親子向けイベント(みなはびひろば)などを実施。
- ・放課後の子どもの居場所づくり(わらっこ)を始めたが、全町的に広げ、日数も確保するためには支援が必要。
- ・子育てに関する話し合いの場を継続的に設けてほしい。

誰ひとり取り残さないまちへ

町民のみなさんに開かれた議会を目指して、各産業団体の方々との意見交換を年1回おこなっています。今年度は3月25日、ケアセンター2階会議室を会場に、町の福祉関連団体の方々をお招きして開催しました。高齢者福祉、子ども福祉、障がい者福祉、それぞれ様々な課題がありました。



参加していただいたみなさん、ありがとうございました。
孤立した社会を作らないために、いただいたご意見を
今後の議会活動に活かしてまいります。



総務産業建設
常任委員会

令和 8 年 2 月 12 日、
町内のふるさと納税の返
礼品を扱う農業・漁業の
2 件の現地調査を行った。

地域企業の現状と課題は
調査の概要

ふるさと納税に伴う返礼品が寄付額に与える影響が大きいことから各自
自治体においては生産拡大に取り組んでいるところである。当町においても
令和 7 年 11 月現在において参加業者が 53 件と増加傾向にあることから現
状と課題の調査を行った。

今回の調査から見てきた課題は以下の通りであった。

- ・近隣の沿岸自治体が似通った商品が多く差別化が難しい。
- ・大量生産し流通を可能とする大規模工場がない。
- ・返礼品の規制強化と事業登録の手続きが難しくハードルが高い。
- ・自然環境の変化による不漁から価格高騰で商品提供が困難。
- ・寄付者の寄付金が地域貢献している実感が得られるような資金使途
にすべきである。

については、以上のような現況課題が挙げられたが、このような諸課題を
抱えつつも自分の環境条件を有効に活かしつつ地場産品で地域振興を図っ
ている先進自治体もあることも事実であり、当町においてもこうした他の
事例を学び産業及び地域の活性化に取組むことが我々地方に住む者の使命
と捉え、今後も継続調査を行うものとする。

民生教育防災
常任委員会

令和 8 年 1 月 21 日、
教育委員会事務局職員か
ら、コミュニティ・スクー
ルの現状と課題について
聞き取り調査を行った。

コミュニティ・スクールの現状は
調査の概要

令和 5 年度までに全ての小中学校にコミュニティ・スクールが設置され、
地域住民の協力のもと各学校の特徴を生かした取り組みが行われている。
特に総合的な学習の時間において、地域の課題意識や探求への意欲を高め
る取組みにより教育活動の充実が図られており、地域と連携することで学
校運営の向上に一定の成果が確認できた。一方、制度の周知や多様な人材
が参画しやすい体制づくりに課題を残し、さらに教員の働き方改革におい
て早急に取り組むが必要な状況である。より良い教育環境を整備するた
めには、コミュニティ・スクールを軸とした学校、保護者、地域の一体的な
連携、協働が不可欠である。

先進的事例も含め当町の身の丈にあった施策を調査、確認する必要性が
あることから継続調査とする。

請願・陳情の受理状況

議会では、町民の方や町外の方からの陳情などを随時受け付けています。

陳情書

全国一律最低賃金の創設と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意
見書採択を求める陳情書

この陳情については、議員に配布しました。

1 月臨時会議
議案一覧 11 件

(報告 1 件・条例 3 件・委託 1 件・工事 1 件・予算 4 件・その他 1 件)

報告	報告第 12 号	令和 7 年度一般会計補正予算に係る専決処分。国政選挙費用 1,674 万円の計上。
条例	議案第 37 号	職員の給与を改定 他、宿日直手当や通勤手当なども改定。
条例	議案第 38 号	特別職（町長、副町長、教育長）の給与を改定 併せて期末手当の規定も。
条例	議案第 39 号	議員の報酬を改定 ※尚、今回の 37 号から 39 号の改正は人事院勧告に準拠したもの。
委託	議案第 40 号	スポーツ施設（スポーツ交流村・平成の森）の照明 LED 化推進を業務委託 併せて施設予約システム導入も委託。 →P11
工事	議案第 41 号	石浜地区防波堤整備工事を 2,316 万円増額して、総額 2 億 1,786 万円となる。 工事請負変更契約を㈱阿部伊組と締結。工期は令和 8 年 3 月 31 日まで。
その他	議案第 42 号	一般車両と消防車両の接触による破損について補償。損害賠償額は 34 万 6,720 円。
予算	議案第 43 号 ～議案第 46 号	令和 7 年度一般会計、特別会計（介護）、企業会計（病院、訪問看護ステーション） の各補正予算。主に物価高騰対策の事業実施に関するもの。 →P11

議案 38 号・39 号は起立採決。賛成多数で原案どおり可決。

3 月定例会議
議案一覧 35 件

(報告 1 件・条例 10 件・工事 2 件・財産 2 件・予算 17 件・人事 1 件・同意 1 件・その他 1 件)

報告	報告第 13 号	行政手続きにおける個人番号の利用に関する条例の改正。
条例	議案第 47 号	職員の給与に関する条例の一部改正。職務分類表を改定。
条例	議案第 48 号	国民健康保険税条例の一部改正。子ども・子育て支援金創設に伴い、税率を改正。 →P 9
条例	議案第 49 号	同 宮城県の示す標準保険料率に合わせていくため、段階的に税率を改正。
条例	議案第 50 号	特別導入事業基金条例の一部改正。畜産振興を目的に貸付要件の見直し。
条例	議案第 51 号	介護保険条例の一部改正。特例減免規定の追加。
条例	議案第 52 号	道路占有料条例の一部改正。道路法施行令の一部改正に伴い、町道占用料の見直し。
条例	議案第 53 号	漁港管理条例、準用河川占用料等条例の一部改正。道路占用料の改定に準じて見直し。
条例	議案第 54 号	町営住宅条例の一部改正。大森 B、柊沢、名足の各既存木造住宅について一部用途廃止に。
条例	議案第 55 号	公共施設維持管理基金条例の一部改正。基金使途を維持管理に加えて、運営まで拡 大。 →P 9
条例	議案第 56 号	せせらぎ水土里公園設置及び管理条例の廃止。公の施設としての機能を喪失してい るため。
その他	議案第 57 号	過疎地域持続的発展計画の策定。 過疎対策事業債の充当方針など決定。 →P 9
工事	議案第 58 号	令和 7 年度町道入谷小学校線道路改良工事を 84 万円増額して、総額 5,791 万円となる。 工事請負変更契約を㈱須藤建設と締結。工期は令和 8 年 3 月 19 日まで。
工事	議案第 59 号	令和 7 年度歌津中学校大規模改修工事を 685 万円増額して、総額 1 億 8,285 万円となる。 工事請負変更契約を山荘建設㈱と締結。工期は令和 8 年 8 月 28 日まで。
財産	議案第 60 号・61 号	病院診療費の債権放棄。 1 法人・ 1 個人の診療費徴収が見込めないため。
予算	議案第 62 号 ～議案第 69 号	令和 7 年度の一般会計、特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場事業）、 企業会計（水道、下水道、病院）の補正予算。主として年度末の整理補正措置。 →P10
予算	議案第 70 号 ～議案第 78 号	令和 8 年度の一般会計、特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場 事業）、企業会計（水道、下水道、病院、訪問看護ステーション）の当初予算。 →P 4
同意	同意第 5 号	新副町長として男澤知樹氏の任命に同意。 →P10

おらが町の議員に突撃インタビュー

シリーズ2回目

第80号の新人議員インタビューに続き、

今回は2つの常任委員会の委員長を務める議員に突撃インタビューを行いました。意外な一面も。

Q1 議員を志したきっかけは
仮設住宅で生活しながら店の再建に奮闘していた頃、子どもたちの寝顔を見ていた時に、復興しながらも、安心して育てられる子育て環境の必要性を感じてまちづくりを意識するようになりました。



民生教育防災常任委員長
須藤 清孝

Q2 委員長としての抱負は
本委員会が所管する福祉、教育、防災は、いずれも町民生活の根幹を支える重要な分野です。町民皆様の声に耳を傾け、委員の皆さんの意見を丁寧に集約しながら、実効性のある議論と提言につなげ、町民福祉の向

上と安全・安心なまちづくりを実現に尽力してまいります。
Q3 プライベートは
最近はずっと釣りが取れず釣行してませんが、釣り大好きです。震災以前は、仕事のことで魚のことだけ考えてた時期がありました(笑) 写真は10年前に、友人が気晴らしに船に乗せてくれた時のものです。最近では、震災で亡くなった友人が残してくれた、年代物の原付スクーターを修理しながら乗ってます。

Q1 議員を志したきっかけは
政治は課題意識を有して取り組むのであれば年齢



総務産業建設常任委員長
阿部 司

Q2 委員長としての抱負は
総務産業建設委員会は範囲が広く課題も山積しております。とりあえずは財務基盤を確保する必要があると思います。その為

を問いません。老若男女関係なく自分なりに町の課題に取り組む意欲がある方はおおいに立候補すべきと考えます。

Q3 プライベートは
若い時から占術に関心があり姓名・占星術・印相等を観ます。アドバイス出来る程度の知識は有していると思います。

は産業振興を兼ねてふるさと納税への取り組みが必要と考えております。

映像配信中!

パソコンやスマートフォンから、議会開催中はリアルタイムで、後日見たい場合は録画映像をご覧になれます。



皆さん議会を傍聴してみませんか?

次回 令和8年6月2日(火)
午前10時から

編集後記

昨年11月に議員となり、今回2度目の議会だよりの作成となりました。これまで何気なく読んでいた議会だよりが完成するまでには、何度も協議を重ね、レイアウトを工夫し、原稿を書き、校正作業を繰り返す行など、その工程の多さ、完成までのスケジュールの過密さに驚いた次第です。今回の3月会議はR8年度当初予算の審議もあり、かなりのボリュームです。誌面の都合上、載せきれない部分もあります。誌面QRコードから議会映像をご覧になったり、議場へ傍聴に来ていただいたり、少しでも議会に興味を持ってくださる方が増えるよう、また議会だよりも皆さまに伝わりやすい物になるよう、研鑽を積んでまいりたいと思います。

星 岳大

議会広報常任委員会

委員長 伊藤 俊
副委員長 星 岳大
委員 阿部 司
委員 高橋 尚勝
委員 須藤 清孝
委員 後藤伸太郎